



かわいさと美しさの共進化 —ツバメの好みの進化学—



1——異性の魅力が生物進化の原動力であることは今や常識となり、地理変異、種分化、多様性、全てに「魅力」が関係しているという。ただし、その「魅力」に種類がある、そんなアニメ好きな日本人には当然のことを世界はまだ知らない。

2——ツバメは美しさによって異性を選ぶことが広く知られている代表的な野鳥である。流麗な尾羽、鮮烈な羽色、美しくも複雑な囀りが異性の獲得に効いているという。

3——最近、私はかわいさという別の魅力をツバメがもつことを示した (Hasegawa et al. 投稿中; 生態学会第57回大会要旨参照)。雄は囀りとは別に、ヒナに擬態したかわいい声を出すことで雌を誘引する。

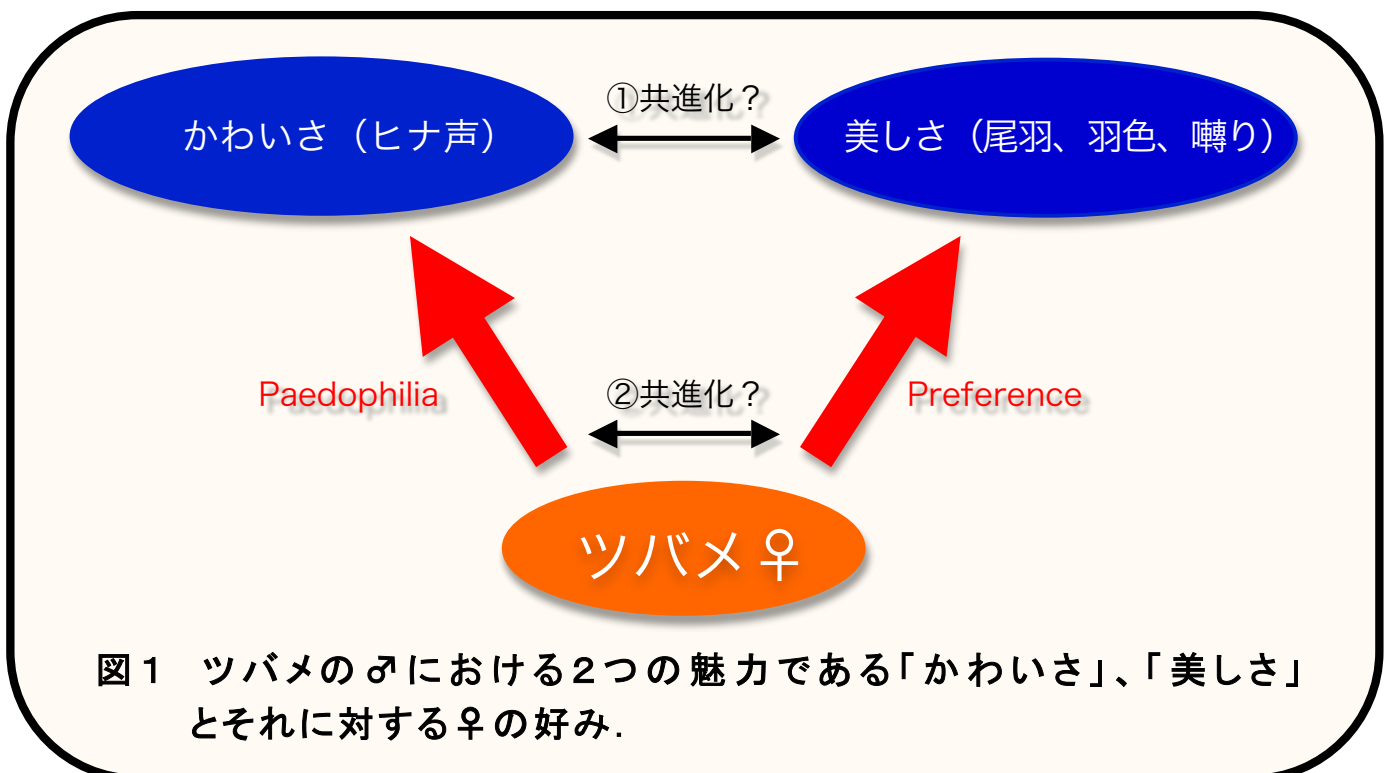


図1 ツバメのみにおける2つの魅力である「かわいさ」、「美しさ」とそれに対する♀の好み。

4——本研究では、かわいさと美しさの相互作用について調べる。普通に考えれば、かわいい(よりヒナに近づく)ことは美しい(より装飾化する)ことと矛盾する。この矛盾をツバメがどのように解決しているのか、あるいはしていないのかについて調べる。



目的

ツバメを用いて、
かわいさと美しさが互いの進化にどの
ような影響を与えているのか調べる

調査地——石川県金沢市およびその周辺で行う予定です。

方法——2つの方法を用いる: ①雄のかわいさと美しさの関係を調べる(図中の矢印1); ②雌が示すかわいさへの好みと美しさへの好みの関係を実験的に調べる(図中の矢印2)。

得られた結果から、かわいさと美しさが招くツバメの進化的な帰結を予測し、ツバメが今後どのように進化するのか、またかわいさと美しさの相対的な重要性の変化がツバメの表現型にどのような影響を与えるのか議論する。

理学博士 長谷川 克

